

平塚市産業振興計画2024（概要版）

「“つながり”から新たな価値を創造する ひらつか」を目指して



計画策定の趣旨 P2

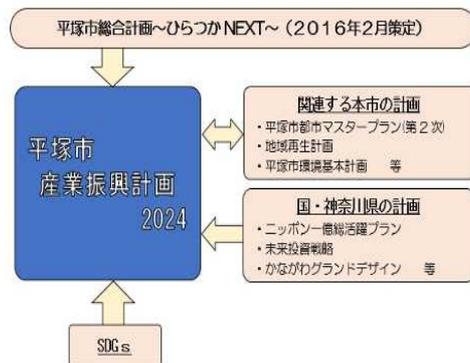
我が国を取り巻く社会情勢は、東日本大震災の影響や少子高齢化等による人材不足、新興国の存在感の増大等により大きく変化し、また、そのスピードも加速しています。

また、本市における最上位計画である平塚市総合計画～ひらつかNEXT～が、効率的・効果的に施策展開を図ることを念頭に置き、2016年度から2023年度までの新たな計画として策定されました。こうした状況の中で、持続的に経済成長を図るため、新時代を見据えた新たな産業振興の方向性を示すべく平塚市産業振興計画2024の策定を行います。

計画策定の位置づけ P2

本計画は、市内各産業の振興を図るため、上位計画である平塚市総合計画～ひらつかNEXT～に即して定め、本計画の推進にあたっては、関連する本市の他計画との整合を図るとともに、国や県の方針にも則って策定します。

また、SDGs（持続可能な開発のための目標）の理念と方向性を同じくしています。そのため、本計画の策定にあたっては、本市の持続可能性を高めることを念頭に、経済状況を踏まえたSDGsの目標達成に向けた役割を果たしていきます。



計画期間 P3

本計画の計画期間は、上位計画である平塚市総合計画の計画期間が2023年度までであることから、その後の改定も考慮し、2019年度から2024年度までの6年間とします。

土地利用の考え方 P3

本計画では、平塚市都市マスタープランと整合を図り、計画策定時に都市計画決定されている用途地域等を原則として土地利用を考えます。

産業を取り巻く現状 P4～

人口等の動向や産業構造の変化、景気の動向、様々な技術の発展等、産業を取り巻く現状は日々変化しています。現時点では将来像が明確でないものの、今後の社会的、経済的な動向に及ぼす影響が大きい3つのテーマとして、「働き方」「企業組織」「知と人材」が考えられ、これらの動向を継続的に注視し、施策面での柔軟な対応を図る必要があります。

イノベーションの必要性 P17

本計画では「本市の強みを活かす」ことで、新たな価値や仕事を創出することを「イノベーション」と定義し、本市経済の発展を展望します。

本市はこれまで、平塚海洋エネルギー研究会を発足し、様々な取組を行い、開発環境の整備と民間セクターを育てる組織・期間のネットワーク化の一部を担っており、自治体がイノベーションに対して果たせる役割を示唆するものと考えています。



◆ 1章 計画の方向性

目指すべき将来像 P38

本市産業がさらなる発展を遂げるため、将来像を設定します。

“つながり”から 新たな価値を創造する ひらつか

【つながり】

グローバル化やICTの発展などにより、ヒト・モノ等の国境を越えたつながりが、産業を活性化するうえで必要になると考えています。

【新たな価値の創造】

社会情勢やニーズが急激に変化するなかにおいて、新たな価値の創造に向けた新ビジネスや新産業の創造に挑戦しやすい環境づくりが必要と考えています。

基本戦略 P41

基本方針を推進するうえで、特に意識すべき考え方として、3つの基本戦略を掲げます。

【基本戦略 地域内経済活動の活性化】

景気の動向は、資本の動きに影響されます。平塚市内に企業の投資が集まれば、企業の生産性の向上、工事の発注、新規雇用の創出、固定資産税の増加等が見込まれます。市外からの観光客や買い物客の流入、また、生活必需品を中心に、地域内での取引割合が増えることで、地域の経済主体の持続可能性が高まります。逆に、投資や購買の意欲が下がり、資本の循環が滞れば、産業は衰退します。そのため、地域内経済活動の活性化に取り組みます。

【基本戦略 地域内産業の競争力強化】

本市には国際的な競争力を有する大手企業が多数立地しています。また、戦後に発展したバラを中心とする花き栽培は東京近郊の利点を活かし、全国的にも競争力のある産業として発展しました。鉄道開通後、平塚駅周辺の商店街は、大山詣りの玄関口として、そして、工業の発展とともに増えた人口に支えられながら発展してきました。しかし、急速な技術の発展や社会インフラの整備等によって、これまでの競争優位性が徐々に弱まってきました。そのため、社会情勢の変化に対応した地域内産業の競争力強化に取り組みます。

【基本戦略 新産業の創出】

これまで、多くの産業が新産業の勃興によって淘汰されてきました。私たちを取り巻く社会は日々、新たな問題に直面しています。社会的起業家や、社会的責任投資（SRI）が注目を集める一方、EU等、国や地域が積極的に規制・投資をすることで、イノベーションを起こさせようとする取組も目立っています。そのため、社会の急激な変化に備えるとともに、自ら変化を起こせる企業や大学等、様々な主体による新産業（新規事業の構想などアイデアのレベルから、事業化、普及といった各プロセスの全部または一部）の創出に取り組みます。



基本方針 P40

将来像の実現のため、7つの基本方針を設定します。

1

【社会環境の変化に応じたイノベーションの創出】

様々な研究会等の活動で得られた「知」の集積と活用のほか、創業支援や産業間連携の推進など、新たな価値の創造に取り組む事業者を支援することで、社会環境の変化に応じたイノベーションの創出を図ります。

2

【持続可能な小規模事業者・中小企業の発展】

関係機関等と連携し、事業者の経営基盤の強化や円滑な事業承継の促進を図るほか、生産性向上に向けた支援を推進することにより、持続可能な小規模事業者・中小企業の発展を図ります。

3

【労働需要の充足支援】

事業者の人材確保の支援を行うほか、労働生産性の向上に向けた取組の支援や、潜在的労働力の活用を促進するなど、事業者の労働需要を充足させる支援を進めます。

4

【個性豊かな商業機能の向上】

人が集まる賑わいと魅力あふれるまちづくりを目指し、消費者ニーズに応える個店の育成や、活気ある商店会づくりを促進するなど、個性豊かな商業機能の向上を図ります。

5

【工業の規模拡大を促す支援】

基幹産業である工業の経営拡大や販路拡大のため、企業と研究機関との交流機会の創出を進めるとともに、先端技術開発に取り組む企業を支援するなど、企業の経営拡大を促す支援を進めます。

6

【都市近郊の立地を活かした農業・漁業の活性化】

多様な担い手の確保・育成や、農水産物の品質及び付加価値の向上、地産地消を推進するほか、生産環境の保全等を図るなど、都市近郊の立地を活かした農業・漁業の活性化を図ります。

7

【各産業の強みを活かした魅力ある観光地の形成】

観光消費額の増加を目指し、新たな観光資源を掘り起こすとともに、受け入れ環境の整備等により、地域特有の観光資源を磨き上げるほか、市内事業者へ土産やサービス等の新商品開発を促すなど、各産業の強みを活かした魅力ある観光地の形成を図ります。

◆ 2章 産業振興に向けて

施策 P43~

本市の持続的な経済成長に向けて、21の施策を設定しています。

(1) 「知」の集積と活用（ナレッジ・マネジメント）

(2) 創業支援とベンチャー企業の創出

(3) 地域資源や経営資源を活用した産業間連携の推進

(1) 生産性向上に向けた支援の推進

(2) 経営基盤の強化の推進

(3) 円滑な事業承継の促進

(1) 企業の人材確保の支援

(2) 労働生産性向上の促進

(3) 潜在的労働力の活用

(1) 魅力ある個店づくりと経営強化

(2) 商店街の活性化に向けた支援

(3) まちづくりと連動した中心市街地の活性化

(1) 企業立地の促進

(2) 付加価値の向上支援

(3) ビジネスチャンスの創出

(1) 担い手の確保・育成と持続可能な農業・漁業の推進

(2) 消費者ニーズに応える農水産物の生産と地産地消の推進

(3) 生産環境保全と多面的機能の活用

(1) 観光資源の魅力アップ

(2) 広域的な周遊ルートづくりと観光プロモーションの推進

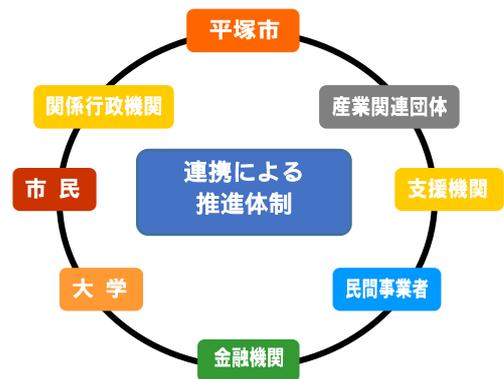
(3) インバウンドへの対応

◆ 第3章 計画の推進に向けて

推進体制 P76

社会環境の変化のスピードが加速する中、本市をとりまく環境の変化に柔軟かつ適切に対応し、持続的な経済成長を続けるためには、産業振興に関わる各主体が、それぞれの役割を果たしつつ連携することが必要です。

そのため、産業関連団体や支援機関をはじめ、民間事業者や金融機関、大学、市民、関連行政機関等との連携を積極的に図ります。



研究体制 P76

本計画は、2024年までを計画年度としておりますが、産業関連の分野においては社会情勢やニーズの変化など、施策の方向性に影響を与えやすい予測困難な課題が多数存在しております。

これらの今後起こり得る諸課題に柔軟に対応していくためには、世界的な経済動向や本市を取り巻く環境の変化を注視したうえで、新規事業の検討及び既存事業の改善等を随時図ることが必要であることから、継続的に研究を行う体制を整えます。

進行管理 P77

本計画の進行管理は、毎年度、上位計画である「平塚市総合計画～ひらつかNEXT～」の実施計画事業を対象として、施策ごとに作成する評価シートにおいて成果を把握します。また、解決すべき課題や問題を明確にすることで、社会情勢の変化に対応した新規事業の検討や、既存事業の見直しを図ります。



◆ 資料編

「計画の策定体制」及び「計画の検討経過」を記載するとともに、平塚市産業振興計画2024の作成に際して、参考とした文献等のほか、用語解説を掲載しています。

平塚市産業振興計画2024（素案）（概要版）

平塚市 産業振興部 産業振興課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話（0463）-23-1111（代表） 内線2583